

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成2015年 6月20日			
所属学部・研究科	総合科 学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ミネソタ大学 (国名: アメリカ)			
所属学部・学科等名	Collage of Liberal Arts Department of Global Studies			
在籍身分	Exchange student			
留学期間	平成27年 9月 2日 ~ 平成27年 5月 16日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: J1			
	ビザ申請先: 米国領事館 (大阪)			
	取得方法, 提出書類: パスポート、DS-2019、財政証明書、成績証明書、証明写真			
	手続きに要した日数: 約2週間			
その他必要な事前手続き	予防接種など			
出国年月日	平成 26年 8月 21日			
経路	成田→シカゴ→ミネアポリス			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	International 全体のオリエンテーションと交換留学生用のオリエンテーションがありました。			
帰国年月日	平成 27年 8月 20日			
経路	ミネアポリス→ロサンゼルス→成田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	1700,000	円	
	内訳	渡航費	220,000	円
		保険料	100,000	円
		教科書代(学費)	30,000	円
		宿舍費	800,000	円
		食費	300,000	円
		その他 ( 旅行費 )	250,000	円
( 費 )		円		
( 費 )		円		
<b>3. 授業について</b>				
2014年 秋学期	9月 2日 ~ 12月 18日			

2015年 春学期	1月 20日 ~	5月 16日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	Global Studies, International Politics, Environmental Science, Music 等	
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	Office hour を利用して先生やTAに積極的に質問にいくとよいと思います。	
<b>4. 生活等について</b>		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )	
住居の広さ	約 12 m <sup>2</sup>	同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 ( 人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )	
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨)\$700	約 84,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮ではミールプランを付けなければならないので自炊をしたい人や外食が多くなる人にはアパートをお勧めします。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	ジフテリア, おたふく, 破傷風, 風疹	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	体調を壊すと大学病院が無料で検診してくれますが, 薬は処方箋をもらい自分で買う必要があります。日本から薬を持参しているとよいかもしれません。	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	ミネソタの冬は非常に厳しく、日本から来ている留学生は皆体調を壊していたので特に防寒に気を付ける必要があると思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
ダウタウン、アップタウンの一部地域、ディンキータウン		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	2016 年の春に就職活動を始める予定です。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
特にアメリカの大学は公立でも自費で留学するとかかなり高額な授業料が掛かるため、HUSA はとても経済的に負担が少ない留学プログラムです。留学は経済的にも、進路の面でもコストが掛かるとは思いますが、それ以上に 1 年間海外の大学で学ぶことのできる HUSA プログラムは非常に貴重な機会なのでもっと多くの学生に参加してもらいたいと思います。		

## 学習の概要に関するレポート

私はミネソタ大学では **Collage of Liberal Arts** の中の **Global Studies** という学科に所属したのですが、交換留学生は基本的にほとんどの授業を受講することが可能です。私は国際政治や経済開発、環境科学など主に国際問題に関わるクラスを取りました。また音楽科でとっていたピアノのクラスはとても楽しく息抜きにもなったので、座学だけでなく色々な学部から自分の趣味や挑戦してみたいクラスを探してみるのもよいと思います。

1年間のミネソタ大学での学習で感じた印象は、アメリカの大学は課題もクラス内でのワークロードも非常に多いということです。私の取っていたクラスはどれも毎週のリーディングとライティング課題が非常に多く、初めはその課題量と講義に追いつくことに大変苦労しました。加えて、英語で専門的な分野を学ぶということも私にとって非常に大きな困難でしたが、課題や授業の予習復習に十分に時間をとって取り組むことで次第に慣れていき、自分の興味のある分野について余裕をもって学習することができました。反対に課題や予習を疎かにして授業に臨むとクラスに付いていけないということも多々ありましたが、時間を掛けて自分で準備をすることは非常に大切なことだと感じました。また、アメリカの大学では教授と生徒同士のディスカッションやプレゼンテーション、グループワークも多く、学生たちは大変積極的にクラスに参加します。クラスでは、アメリカ人のみならず私以外の留学生もたくさんおり、様々な背景や意見を持った学生がたくさんいました。しかしその中で誰も発言や質問を躊躇うことなくクラスはいつもとても活発で、違う考えを持ったお互いの意見を尊重しようとする学生や先生たちの姿勢にはとても感心しました。初めは中々慣れるのが難しいですが、積極的にクラスに参加してみようという意識が大切だと実感しました。特に私の履修したクラスは国際問題に関する分野が多かったため、英語という言語を通して、色々な学生とグローバルな共通の課題について共有し、お互いの意見を共有できたことは日本ではなく留学先の大学ならではの体験だったと思います。

また私は授業では先生やTAに自分が交換留学生でこちらの授業に慣れてないことや、助けが必要だということによく相談に行っていました。ミネソタ大学では先生方やTAの方たちは非常に学生に協力的で、オフィスアワーに尋ねたり授業後に質問に行った時は大変親切に助けて頂いたので、先生たちや周りの学生との交流は大切にするとよいと思います。

英語に関してですが、語学力の向上は留学先での大きな課題の一つでした。授業で使うアカデミックな英語は時間を掛けて勉強したこともあり、私にとっては普段の日常会話の方が問題となる場面が多かったです。ネイティブは話すスピードも速く、会話に追いつくのに苦労することばかりでした。そのため、少しでも日常の英会話に慣れるため、できる限り英語を話す機会を得られるようアメリカ人や他国からの留学生と過ごす時間を増やそうと心掛けていました。

私は、在学中に学んだ分野の中で特に関心があった貧困問題についてより現状への理解を深め自分でも実際に関わりたいと思い、留学プログラム終了後にVISAを延長して二ヶ月間程、低所得層の家庭と子供に教育支援をしているNGOでインターンシップをさせて頂きました。アメリカにはNGOや企業など非常に幅広い分野でインターンシップやボランティアをする機会がたくさんあり、交換留学生は留学中に学んだことと関連する仕事内容であれば働くことが許可される **Academic Training** という制度に申請することができます。留学先では、大学での授業だけでなくこういった制度を利用してより実践的な体験を通して学べだことも大変貴重な経験となりました。

## 生活の概要に関するレポート

ミネソタでの生活について書きたいと思います。まず気候についてですが、ミネソタはアメリカの中でも最も寒い地域の一つで、 $-40^{\circ}\text{C}$ を下回る年もあるようです。私の留学中の冬は最低でも $-25^{\circ}\text{C}$ 程でしたが、それでも経験したことのない寒さで、外にいるのも耐えられないほど寒い日もありました。また、ミネソタでは暑い夏が終わるとすぐに寒くなるので早めに現地でコートやスノーブーツなどの防寒具を買うことをお勧めします。私は日本で使っていた防寒具ではとても寒さを凌げないと思ったので、スキーウェアのようなジャケットを購入しました。

ツインシティーでは **Light Rail** という路面電車やバスなどの交通機関が充実しており、特に昨年はキャンパス内にも路線が開通したので慣れれば移動は大変便利な町でした。また、ミネソタはアメリカ国内では比較的治安のいい場所ではありますが、ダウントウンやアップタウンの一部など雰囲気の悪い地域もあり、夜間はもちろん昼間でも外出を避けた方がよい所もあります。時々ミネソタ大学内で発生した事件報告もメールで届いていたので、キャンパス内でも暗くなってからは十分気を付けた方が良いでしょう。また、キャンパス内であれば **24 時間エスコート** サービスも利用可能で、警備の人に帰り道など同伴してもらうことができるので夜間に散歩く必要があるときは是非活用するとよいと思います。

次に住居についてですが、基本的に交換留学生は大学の寮か **University Village** という大学が管理しているアパートに住むかの選択肢があります。私の住んでいた寮では一人部屋か二人部屋か選ぶことができ、同じフロアの住人で数個のバスルームを共有していました。私は自分のライフスタイルで過ごせるプライベートな部屋が欲しいと思い一人部屋に住んでいましたが、ルームメイトが欲しい人や寮費を節約したい人は二人部屋を選択するのもよいかもしれません。寮を選ぶと、ミールプランという寮の学食を回数制で使えるプランをつける必要があります。寮では毎日ほぼ食堂で食べることになるのでアメリカの食事が合わないと思う人には少し辛いかもしれません。一方 **University Village** では数人のルームメイトとキッチンを共有することになるので自炊をしたい人にはお勧めです。

食事に関しては、キャンパスの周りは様々な種類のレストランやカフェがたくさんあるため、外食をするには困りませんでした。本物の日本食が食べたいときには、少しキャンパスから離れたところやダウントウンなどに行けば日本食料理屋さんも数件あります。

ミネソタ大学では数多くの学生団体やコミュニティが活動しており、毎週様々なイベントが開催されています。イベントでは主催者の団体がフリーフードを提供していたり様々な企画を用意しており、他の参加者と知り合える場でもあります。授業や寮以外で大学の学生の友達を作る非常に良い機会になったので、多くの行事に参加してみることをお勧めします。毎回 **Facebook** などでイベントのお知らせをしているので情報をチェックするとよいと思います。